

プレスリリース [2026 年 6 月 11 日]

(計 2 枚)

持続可能なまち、町田へ —2026 年度調査研究のお知らせ—

町田市未来づくり研究所（所長 若林幹夫）は、前年度に引き続き『持続可能なまち、町田へ』をテーマとし、今年度は「環境」の側面から調査研究を行います。町田市が環境的側面での持続可能性を実現するために、町田市の現状分析や課題整理等、先進事例の成功要因の分析等を行い、町田市の特性を踏まえた具体的な施策を提案します。

【研究内容】

1. 調査研究の目的

町田市は、生産年齢人口の減少、少子高齢化による税収減と社会保障費増加に伴い、財政悪化のリスクを抱えており、「まちだ未来づくりビジョン2040」や「町田市未来都市研究2050」では、収支不足や赤字自治体化の懸念が指摘されています。国連の持続可能な開発目標（SDGs）で目指しているように、持続可能なまちづくりには「経済・社会・環境」の3要素の調和が不可欠です。「持続可能なまち、町田」を目指し、2025年度は、構造的な変革を促す最優先課題として、まずは「経済」の側面から必要な施策について調査研究を行いました。



2026年度は、まちの魅力向上に多分野で寄与する有用な地域資源である里山を、「環境」の側面から、持続的な里山の管理・活用を可能とする手法等について調査研究を行い、具体的な施策を提言することを目的としています。

※これまでの調査研究は、町田市ホームページ（右記二次元コード）をご覧ください。



2. 調査研究の概要

（1）具体的な研究課題の抽出

町田市で環境的側面での持続可能性を実現するために、現状分析から課題を抽出しました。

（2）研究課題の整理・解決策の検討

研究課題について、解決策を検討するために、必要となる定量的・定性的な情報及びデータの収集・分析等を行い、課題の整理を行います。

(3) 事例の成功要因等の分析・ケーススタディ

解決策につながる、もしくは類似した取組を実施している先進的な事例を調査します。

(4) 有識者ヒアリング

行政機関・民間団体・学識経験者等にヒアリングを行い、幅広い意見を反映します。

(5) 効果的な手法の検討

上述までの調査を受けて、中長期的に検討すべき項目、短期的に成果を出すべき項目の案を示します。

(6) 具体的な施策の提案

実施に係るコスト、見込める経済的効果、要する期間等を含めた具体的な施策案を提案します。他自治体の取組をそのまま流用せず、町田市独自の施策を打ち出します。

(7) 情報発信

研究過程や研究成果などは、定期的に情報発信を行います。

(8) 研究成果の作成・発表

研究成果や提言を発表する場として、研究発表会を開催します。また、市民等に周知するための概要版を作成します。

3. スケジュール

本調査研究は、概ね以下のスケジュールで実施する予定です。

月	実施内容	(7) 情報発信
5 月	(1) 具体的な研究課題の抽出	実施
6 月	(2) 研究課題の整理・解決策の検討	
7 月	(3) 事例の成功要因等の 分析・ケーススタディ (4) 有識者ヒアリング	実施
8 月		
9 月		
10 月		
11 月	(5) 効果的な手法の検討	
12 月	(6) 具体的な施策の提案	
1 月	(8) 研究成果の作成・発表	実施
2 月		
3 月		

■ 本件に関するお問い合わせ先

町田市未来づくり研究所（政策経営部企画政策課内）
政策研究担当課長 高田 TEL 042-724-2103